

「洗濯」に関する意識調査

梅雨時期の洗濯事情を徹底調査

洗濯を正しく理解している“洗濯優等生”は約1割という結果に
日光は洗濯において重要ではない！？「窓際」に洗濯物を干すのは間違い！？
マスク洗濯時に「柔軟剤」を使用しており、
デリケートな肌にダメージを与えてしまっている可能性がある方が約3割
洗濯ブラザーズ監修 洗濯知識テスト・梅雨時期の洗濯 3つのポイント

今年も梅雨の時期が近付いてきました。梅雨の時期には洗濯や干し方について悩みを抱える方も少なくないです。この度、健やかな暮らしを提案するリンナイ株式会社(本社:愛知県名古屋市、社長:内藤 弘康)では、洗濯の実態を探るべく、全国20~60代の男女計1,000名を対象に、「洗濯」に関する意識調査を実施しました。

主な調査結果

- ✓ 洗濯ブラザーズ監修「洗濯知識テスト」洗濯を正しく理解している“洗濯優等生”は約1割という結果に
- ✓ 夫が洗濯を担当している家庭は約3割という結果に
- ✓ 洗濯の悩み 第1位「乾きづらい」という結果に
- ✓ コロナ禍においては洗濯の頻度が増加、おしゃれ着洗濯やコインランドリー、クリーニングは減少する結果に
- ✓ マスク洗濯時に「柔軟剤」を使用しており
デリケートな肌にダメージを与えてしまっている可能性がある方が約3割
- ✓ 洗濯の際に落とすのが難しいと感じる汚れ 1位「皮脂汚れ」2位「汗ジミ」
- ✓ 臭いの原因を防ぐ「濡れているものと乾いているものを分ける」方が少ない結果に
- ✓ 洋服を傷める原因になる「窓際」に洗濯を干してしまっている方が約6割
- ✓ 部屋干しをする際に乾きにくいと思う洗濯物 1位「ジーンズ」2位「厚手の服」3位「バスタオル」



洗濯ブラザーズ

茂木貴史、茂木康之、今井良の3人で結成し、毎日の洗濯を楽しくハッピーにするための活動をするプロ集団。

横浜でクリーニング店「LIVRER YOKOHAMA(リブレ ヨコハマ)」を経営するかたわら、劇団四季、クレイジーケンバンドなど国内外の有名アーティストの衣装クリーニングを行う。また、オリジナルのナチュラル洗剤を開発し、好評を博している。

毎日の洗濯が、「嫌いな家事」から「好きな家事」になるように、洗濯の楽しさを伝える活動を実施。メディア出演が急増中。著書に8万部突破のベストセラー『日本一の洗濯屋が教える 間違いだらけの洗濯術』(アスコム刊)。

公式サイト <https://sentakulife.com>

ご家庭で毎日のように洗濯をしている方でも、実は洗濯についての正しい知識を学ぶ場所はあまりないかもしれません。
この機会に、ご自身の洗濯理解度をチェックし、毎日の洗濯を見直してはいかがでしょうか。

洗濯知識テスト

洗濯ブラザーズ監修

○ ×

- | | ○ | × |
|--|--------------------------|--------------------------|
| 1. 室内で洗濯物を干す際には高い位置の方が乾きやすい | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 2. 服が汚れた際にはおしぼりで拭いておくと、洗濯時に汚れがとれやすい | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 3. 洗濯時にはお風呂の残り湯を使った方が汚れが落ちやすい | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 4. 粉末洗剤と液体洗剤だと、液体洗剤の方が洗浄力が高いことが多い | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 5. マスクの洗濯は柔軟剤を使った方が良い | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 6. 洗濯物を入れる際はシーツやタオルなど重たいものを下に、下着やハンカチなど軽いものは上の方が良い | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 7. 洗濯物は、日光に当てて干すのが理想的である | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 8. 部屋干しをする際には風通しが良い窓際に干す方が良い | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 9. 脱水時間を長くすれば、乾燥・仕上げが楽になる | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 10. 洗濯機に入れる順番は「洗濯物」→「洗剤」→「水」である | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

8問以上正解	洗濯優等生！正解は次のページをご確認ください
4問～7問正解	合格点ですが、より満足のいく仕上がりになる洗濯ができる余地あり！
0問～3問正解	間違った知識のもと日頃洗濯をしている可能性大！ 少しの工夫で汚れ落ちや臭いなど気になるポイントが解消できるかも！？

洗濯知識テスト＜解説＞

- | | ○ | × |
|--|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 室内で洗濯物を干す際には高い位置の方が乾きやすい
[解説]室内で洗濯物を干す際のポイントが3つあります。それは温度が高いこと、湿度が低いこと、風通しが良いことです。高い位置の方が温度が高いため洗濯物は乾きやすくなります。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 2. 服が汚れた際にはおしぼりで拭いておくと、洗濯時に汚れがとれやすい
[解説]おしぼりには塩素が含まれており、服を拭くと色落ちの可能性があります。服が汚れた際は乾いたティッシュで水分だけを拭き、帰宅後シミ取りをする方が無難です。 | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 3. 洗濯時にはお風呂の残り湯を使った方が汚れが落ちやすい
[解説]残り湯には垢や汗が含まれています。それらが服に付着することでむしろ服を汚してしまうこととなります。残り湯の活用は水道代の節約に繋がりますが、汚れの落ちやすさという観点では好ましくありません。 | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 4. 粉末洗剤と液体洗剤だと、液体洗剤の方が洗浄力が高いことが多い
[解説]液体洗剤よりも粉末洗剤の方が、汚れを落とす成分が濃縮されていて、皮脂や汗汚れに強く、洗浄力が高いと言われています。液体洗剤で皮脂汚れを落としたい場合は、弱アルカリ性で、洗浄力の高いものを選ぶと良いでしょう。 | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 5. マスクの洗濯は柔軟剤を使った方が良い
[解説]マスクによっては柔軟剤の使用を想定していない製品もあるので、使用しないのが無難でしょう。また、柔軟剤はある程度マスクに残るので、デリケートな肌のことを考えると入れることはおすすめしません。 | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 6. 洗濯物を入れる際はシーツやタオルなど重たいものを下に、下着やハンカチなど軽いものは上の方が良い
[解説]洗濯機の構造上、水と洗剤が入った洗濯槽のなかで衣類が回れば回るほど洗浄力が強くなります。そのため、シーツやタオルなどの重たいものは下に入れる方が好ましいでしょう。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 7. 洗濯物は、日光に当てて干すのが理想的である
[解説]日光にあてて衣類を干してしまうと、紫外線によって色落ちが起こってしまいます。特に色の濃いものは日光に弱く、色あせてしまいます。そのため部屋干しの方が理想的です。 | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 8. 部屋干しをする際には風通しが良い窓際に干す方が良い
[解説]窓際は、屋内でも直射日光が届き、紫外線が服を傷めてしまいます。また、窓際のカーテンレールやカーテンなどには臭いの原因となる菌が繁殖しているケースがあり、それが洗濯物に生乾き臭を与えています。そのため、部屋干しする際は窓際を避ける方が好ましいでしょう。 | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 9. 脱水時間を長くすれば、乾燥・仕上げが楽になる
[解説]脱水時間を長くしてしまうと、衣類の小じわの原因になり、仕上げが大変になってしまいます。特に、デリケートな素材の衣類は、傷んだり、形が崩れたりする場合がありますので、慎重に脱水時間の設定を行う方が無難でしょう。 | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 10. 洗濯機に入れる順番は「洗濯物」→「洗剤」→「水」である
[解説]実は繊維にとって水は刺激物で縮みの原因になります。衣類を真水に触れさせるのは好ましくありません。そのため、水と洗剤をよく混ぜてから衣類を入れるのが理想的な順番です。 | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |



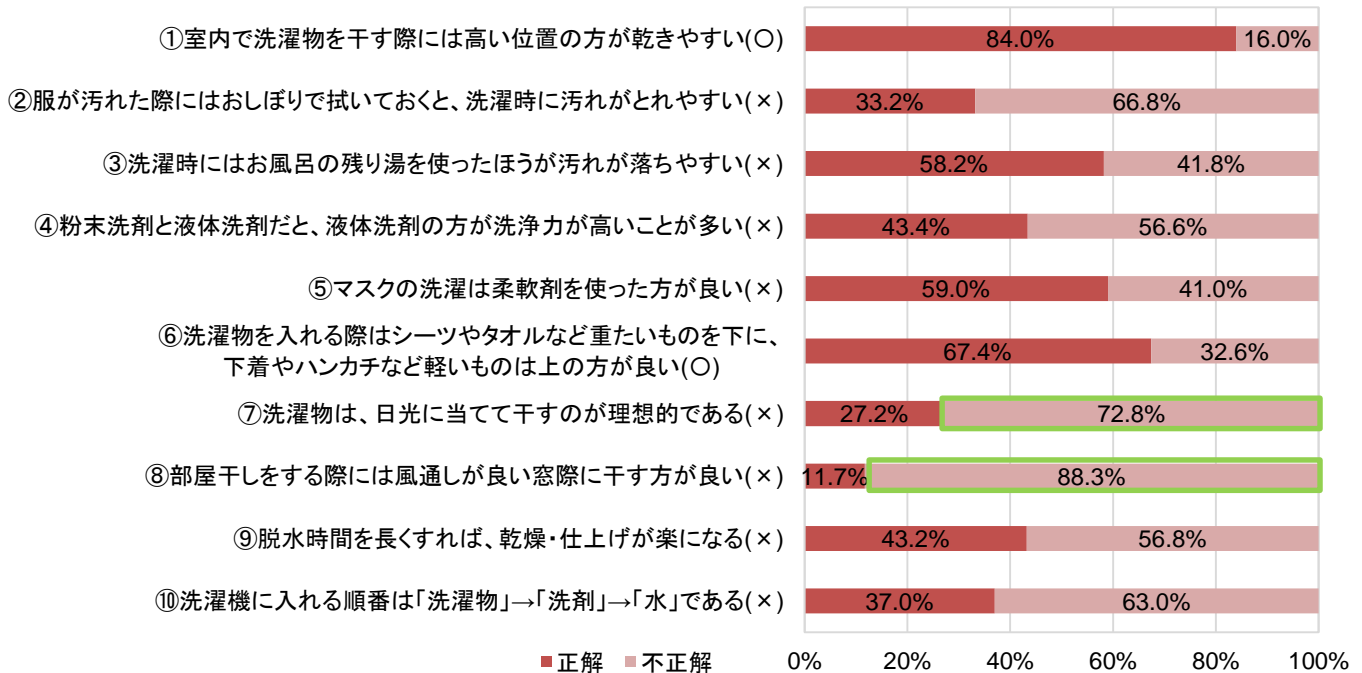
【洗濯ブラザーズコメント】

洗濯の知識がかなりないと正解するのは難しいテストですね。正解できても、その理由までお答えできる方は少ないかもしれません。ここで解説していることは、プロのクリーニング店が実践していることばかりです。ぜひ正しく洗濯を理解して、「洗濯物をきれいにする」「大切な洋服を傷めず長持ちさせる」洗濯ができればと思います。

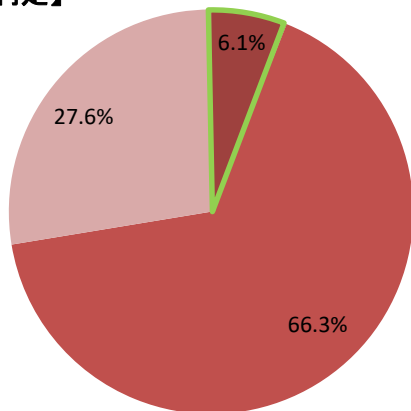
洗濯ブラザーズ監修「洗濯知識テスト」 洗濯を正しく理解している“洗濯優等生”は約1割という結果に

洗濯に関して正しく理解できているかどうかを確認する簡易テストを、洗濯ブラザーズに作成いただきました。今回の調査の結果、全10問の「洗濯知識テスト」において、8点以上得点できた“洗濯優等生”は全体の約1割しかいないことが分かりました。設問の中で最も正答率が低かったのは「⑧部屋干しをする際には風通しが良い窓際に干すのが良い」、続いて「⑦洗濯物は日光に当てて干すのが理想的である」でした(正答は×)。詳しい解説は3ページをご確認ください。

Q1. 以下の内容について正しいと思いますか？それとも間違っていると思いますか？
それぞれについて○×でお答えください。(単一回答 N=1,000)



【理解度判定】



8問以上正解の“洗濯優等生”
約1割

- 8~10問 【洗濯優等生】
- 4~7問 【合格点！】
- 0~4問 【間違った洗濯をしている可能性大】

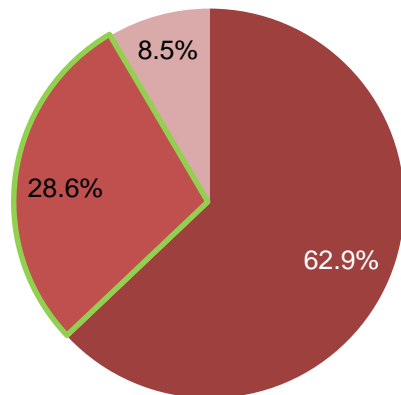
【洗濯ブラザーズコメント】

洗濯は毎日のようにする家事ですが、まだまだ理解が少ないようです。洗濯機や洗剤任せになっていて「正しい洗濯の仕方」を学ぶ場や機会がないので、仕方のない結果だと思います。

夫が洗濯を担当している家庭は約3割という結果に 洗濯の悩み第1位「乾きづらい」という結果に

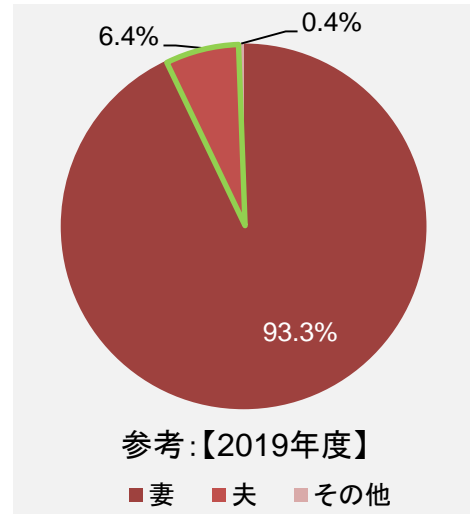
洗濯を担当しているのが妻、夫、どちらであるのか聞いてみました。その結果、夫が洗濯を担当している家庭は約3割となり、ほとんどの家庭では妻が洗濯を担当していることが分かりました。2019年のデータと比べると、夫が担当している方の割合が約4倍増える結果となりました。

Q2.あなたのご家庭で、日常的に洗濯を担当しているのはどなたですか。(単一回答 N=2021年度:768、2019年度:534)



【2021年度】

■妻 ■夫 ■その他

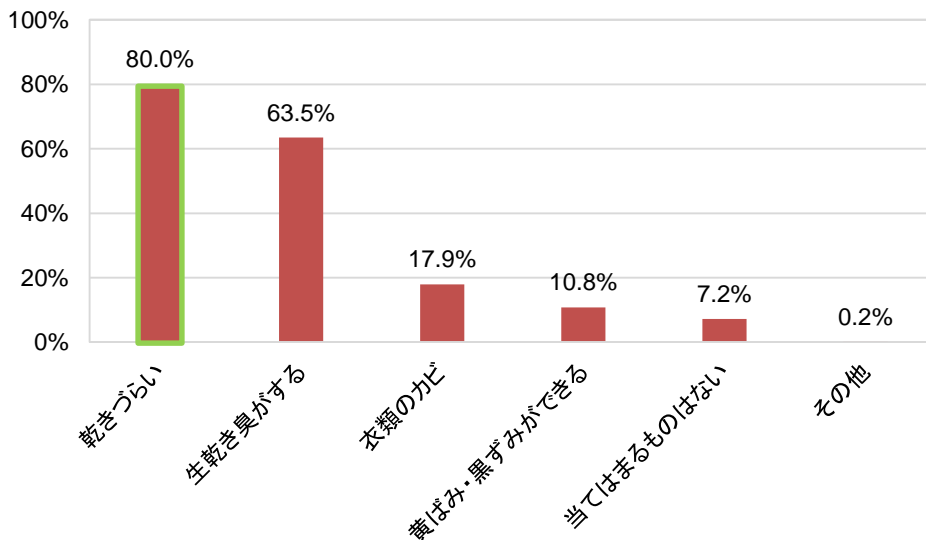


参考:【2019年度】

■妻 ■夫 ■その他

また、梅雨時期の洗濯の悩みについて聞いてみたところ、「乾きづらい」という悩みが約8割と最も多い結果となりました。続いて、「生乾き臭がする」が約6割と多い結果となりました。そのほかにも、「カビ」や「黒ずみ」「黄ばみ」など汚れの悩みが多くランクインしています。

Q3.梅雨時の洗濯に関する悩みとして、あなたが感じたことのあるものを全てお選びください。(複数回答 N=1,000)



【洗濯ブラザーズコメント】

汚れが落ちるメカニズムなどを知ると、洗濯が楽しくなる男性もいるようです。家族で洗濯についての会話が増えると、もしかすると、今後、夫の比率が増えるかもしれません。

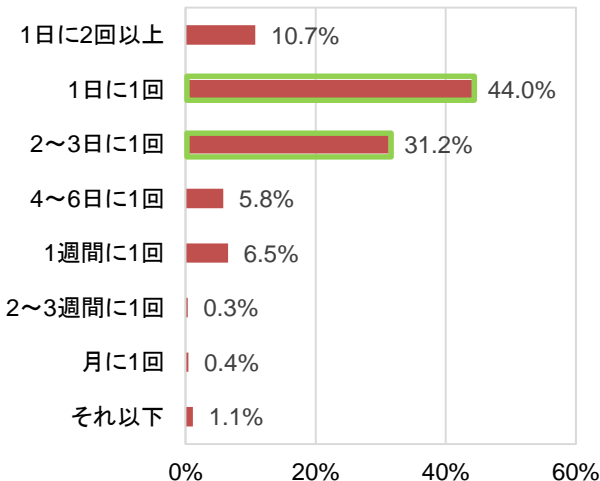
本来は求めたい結果によって、洗剤や洗濯機の種類、洗いを決めていくのが理想です。洗濯に対して満足度が低い場合、これらのミスマッチが原因で起こっている可能性があります。例えば、洗濯をちゃんとした場合は縦型洗濯機が、洗濯を楽にしたい場合にはドラム式洗濯機がオススメです。自分の暮らし方に合わせて、洗濯を「デザイン」していくという視点も大切です。

コロナ禍においては洗濯の頻度が増加、おしゃれ着洗濯やコインランドリー、クリーニングは減少する結果にマスク洗濯時に「柔軟剤」を使用しており、デリケートな肌にダメージを与えてしまっている可能性がある方が約3割

洗濯の頻度について聞いてみました。その結果、1日に1回が最も多い結果となりました。また次に多かったのは「2～3日に1回」となりました。コロナ禍での洗濯の頻度に変化について調査しました。その結果、洗濯の頻度については増える結果となりました。部屋着の洗濯は増え、おしゃれ着の洗濯については減る結果となりました。また、コインランドリーやクリーニングの頻度も年間で減る結果となりました。

Q4.あなたのご家庭では、普段どれくらいの頻度で洗濯をしていますか。(単一回答 N=1,000)

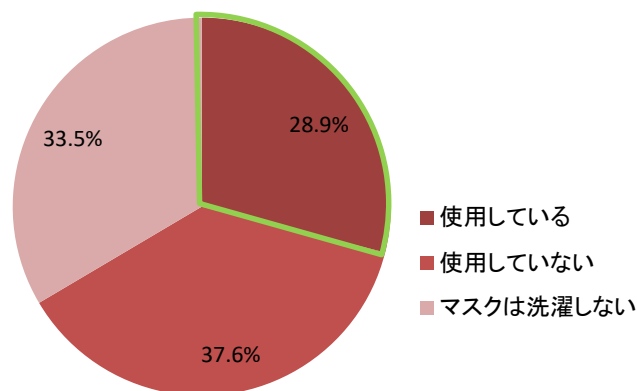
Q5.コロナ禍で家で過ごす時間が増えたことにより、あなたのご家庭の洗濯の頻度に変化はありましたか。(単一回答 N=1,000)



	コロナ前	差	コロナ後
洗濯	5.4回/週	+0.2回	5.6回/週
部屋着	3.7回/週	+0.1回	3.8回/週
おしゃれ着	2.0回/週	-0.1回	1.9回/週
コインランドリー	1.0回/年	-0.1回	0.9回/年
クリーニング	2.5回/年	-0.4回	2.1回/年

また、コロナ禍において新たに増えた「マスクの洗濯」について、マスク洗濯時に「柔軟剤」を使用しており、デリケートな肌にダメージを与えてしまっている可能性がある方が約3割いることが判明しました。

Q6.あなたはマスクを洗濯する際、柔軟剤を使用していますか。(単一回答 N=1,000)



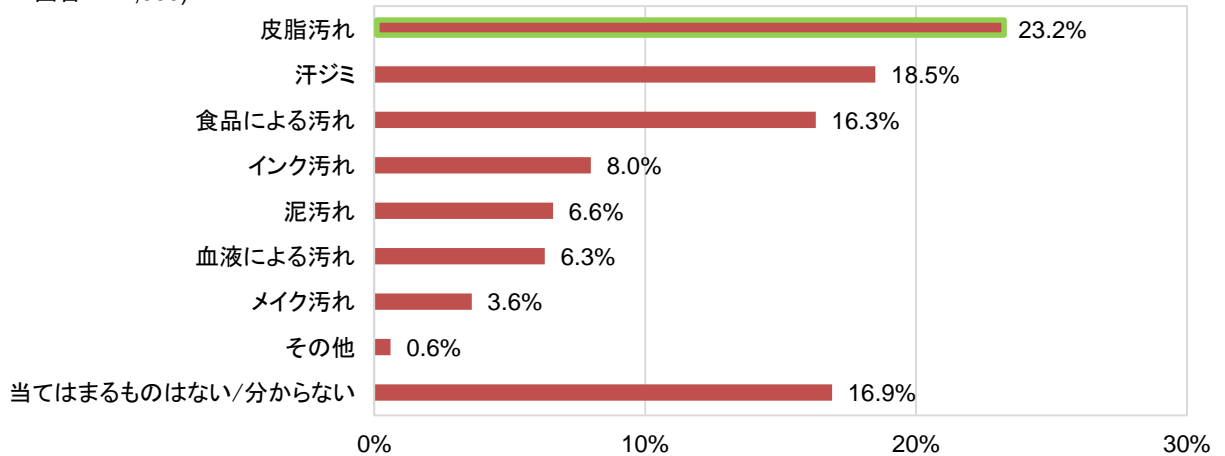
【洗濯プラザーズコメント】

洗濯の頻度については、季節によっても変化すると思いますが、秋冬よりは、春夏の方が頻度が高くなります。コロナによって、洗濯回数が増えた方もいますね。マスクの洗濯で柔軟剤を使う方がいますが、柔軟剤の主成分は肌への刺激が強いものが多く、肌に直接触れるものへの使用は避けた方が良いです。マスクを洗濯する際は、基本的には手洗いがお奨めです。

洗濯の際に落とすのが難しいと感じる汚れ1位「皮脂汚れ」2位「汗ジミ」 洗濯する際に洗うのが難しい服は「ニット・セーター」が最も多い結果に

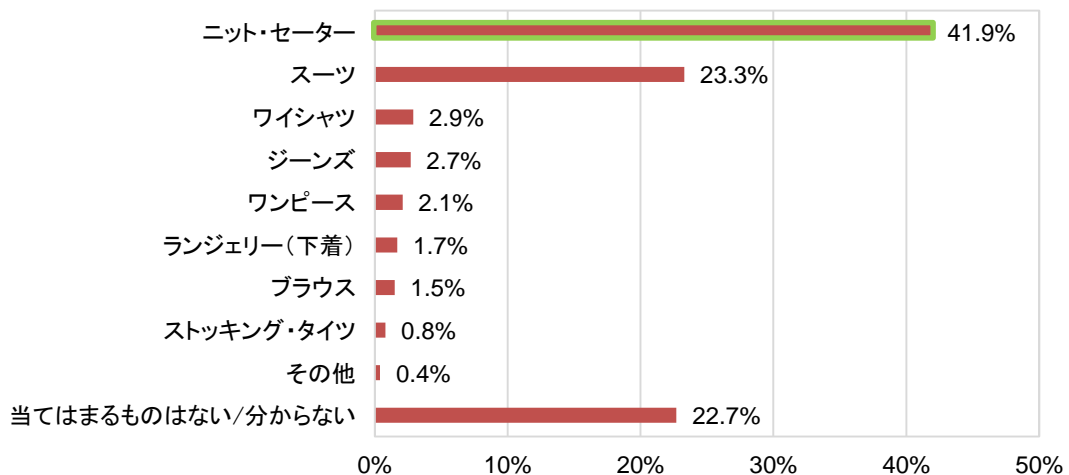
洗濯の際に落とすのが難しいと感じる汚れについて調査しました。その結果、「皮脂汚れ」が最も多く、続いて「汗ジミ」に悩んでいる方が多いことが判明しました。

Q7.あなたが洗濯をする際、落とすのが難しいと感じる汚れは何ですか。最もあてはまるものを一つお選びください。
(単一回答 N=1,000)



続いて、洗濯する際に洗うのが難しい服について聞いてみました。その結果、「ニット・セーター」が約4割と最も多い結果となり、その次にスーツが多いという結果になりました。厚手の服や洗濯機で洗にくい素材の服の洗濯に悩んでいる方が多いことが分かります。

Q8.あなたが洗濯をする際、洗うのが難しいと感じる服がありますか。最もあてはまるものを一つお選びください。
(単一回答 N=1,000)



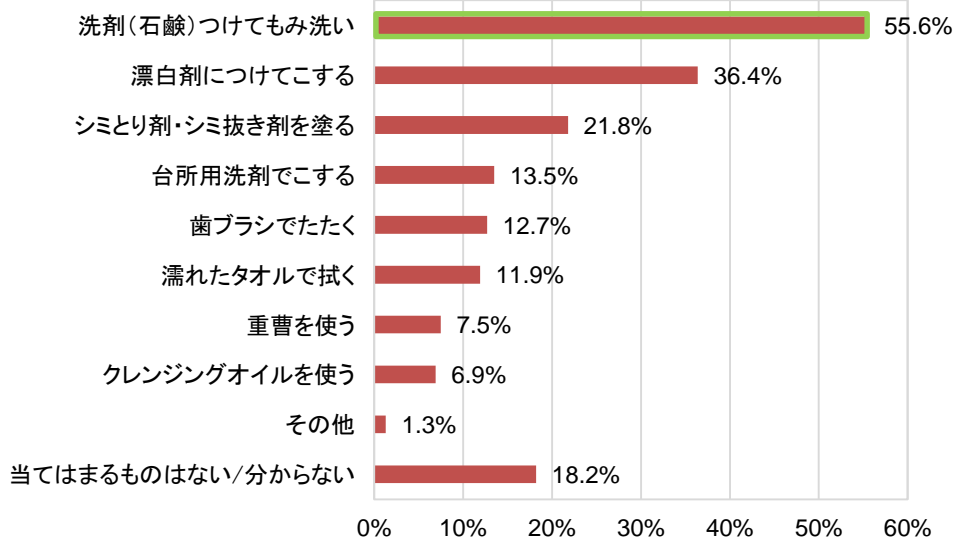
【洗濯ブラザーズコメント】

皮脂や汗ジミなど目に見える汚れは、洗濯機で洗うだけでは落ちません。必ず洗濯前に前処理(プレウォッシュ)をしてから洗濯しましょう。ニットやセーターなどは、手洗い、もしくは洗濯機で洗う場合は、デリケートコースで洗うことがお奨めです。洗濯洗剤は、中性洗剤を選びましょう。

衣類についての汚れを落とす方法は「洗剤(石鹼)につけてもみ洗い」が多い結果に 衣類の黄ばみを落とす際には約6割の方が「漂白剤」を使うという結果に

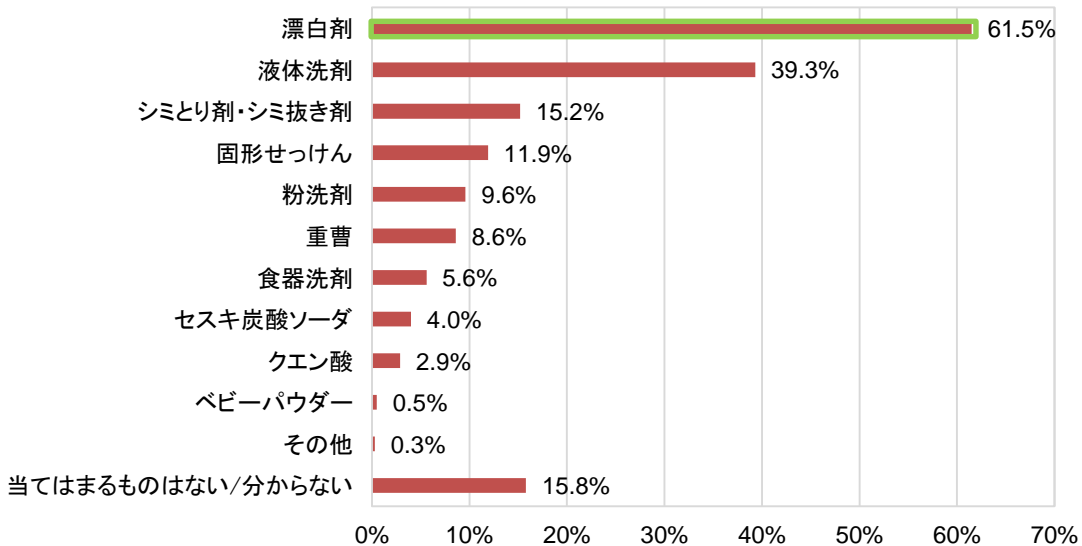
衣類についての汚れを落とす方法について聞いてみました。その結果、「洗剤(石鹼)につけてもみ洗い」が約6割と最も多い結果となりました。続いて、「漂白剤につけてこする」、「シミ取り剤・シミ抜き剤を塗る」などが上位にランクインしました。

Q9.衣類についての汚れを落とす方法として、あなたが実践しているものを全てお選びください。(複数回答 N=1,000)



また、衣類の黄ばみを落とす際に使用するものを調査しました。その結果、「漂白剤」が約6割という結果になり、続いて「液体洗剤」が約4割と多い結果となりました。

Q10.衣類の黄ばみを落とす際に使用するものとして、あなたが使用するものを全てお選びください。(複数回答 N=1,000)



【洗濯ブラザーズコメント】

漂白剤は生地を傷めるので、最終手段として使います。ふだんの汚れは前述した前処理(プレウォッシュ)を行います。スプレーボトルに水と、水と同量の洗剤(弱アルカリ性)を入れてよく混ぜて、汚れのある部分にスプレーし、洗濯ブラシでよく叩きます。こするのNG。10分程度放置してから、洗濯機で洗えば、大抵の汚れは落ちるはず。目に見えない汚れにスプレーすると、黄ばみや臭い防止にもなります。

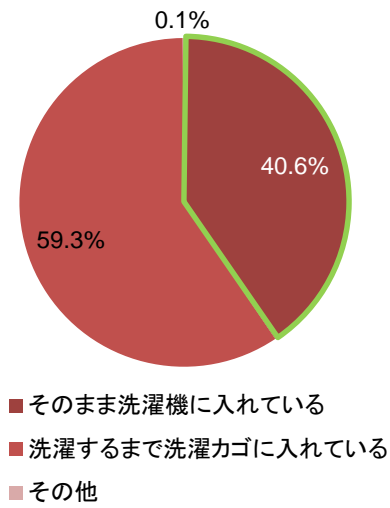
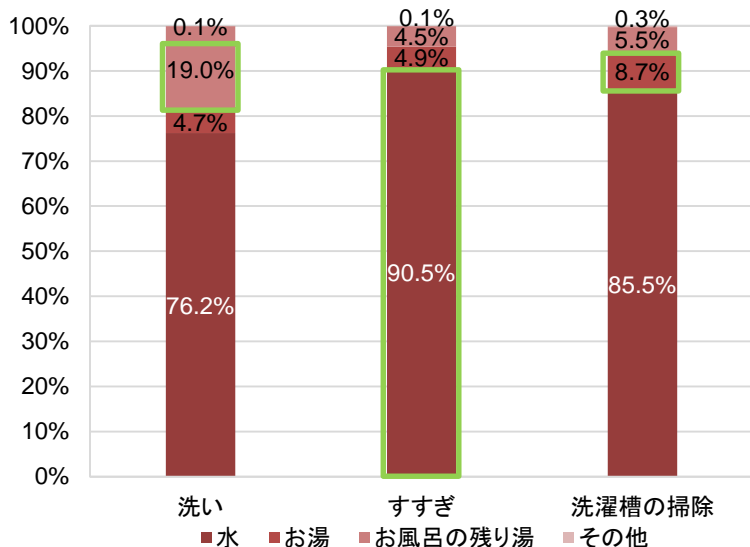
洗濯時に「お湯」や「お風呂の残り湯」を使用する方は約1~2割と少ないことが判明
 脱いだ衣類をそのまま洗濯機にいれてしまっている家庭が約4割
 臭いの原因を防ぐ「濡れているものと乾いているものを分ける」方が少ない結果に

洗濯時に、水、お湯、お風呂の残り湯のどちらを使用するか聞いてみました。特にすすぎの際に「水」を使用する方が最も多いことが判明し、お湯を使うのは「洗濯槽の掃除」をする際、お風呂の残り湯を使用するのは「洗い」の際が多いことが分かりました。

また、脱いだ衣類をそのまま洗濯機にいれてしまっている方が約4割と多いことが分かりました。

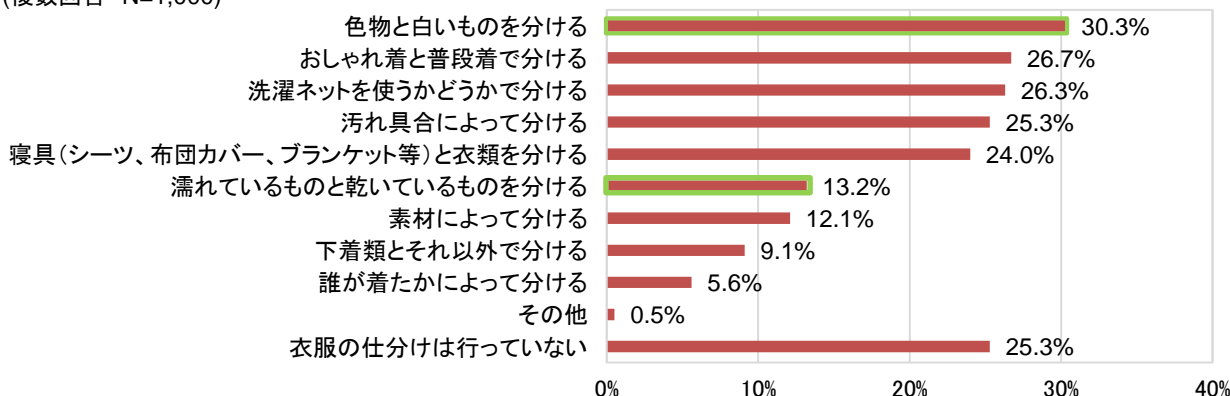
Q11.あなたは洗濯時に、水、お湯、お風呂の残り湯のどちらを使用しますか。洗い／すすぎ／洗濯槽の掃除それぞれについて、最もあてはまるものを1つずつお選びください。(単一回答 N=1,000)

Q12.あなたのご家庭では、脱いだ衣類をそのまま洗濯機に入れてありますか。(単一回答 N=1,000)



洗濯をする際の、衣類の仕分けについて聞いたところ、「色物と白いものを分ける」が約3割と最も多い結果となりました。続いて、「おしゃれ着と普段着で分ける」「洗濯ネットを使うかどうかで分ける」という方が多いことが分かりました。一方で、臭いの原因を防ぐ「濡れているものと乾いているもの」を分ける方が約1割と少ないことも判明しました。

Q13.あなたは洗濯をする際、衣服の仕分けを行っていますか。以下からあてはまるものを全てお選びください。(複数回答 N=1,000)



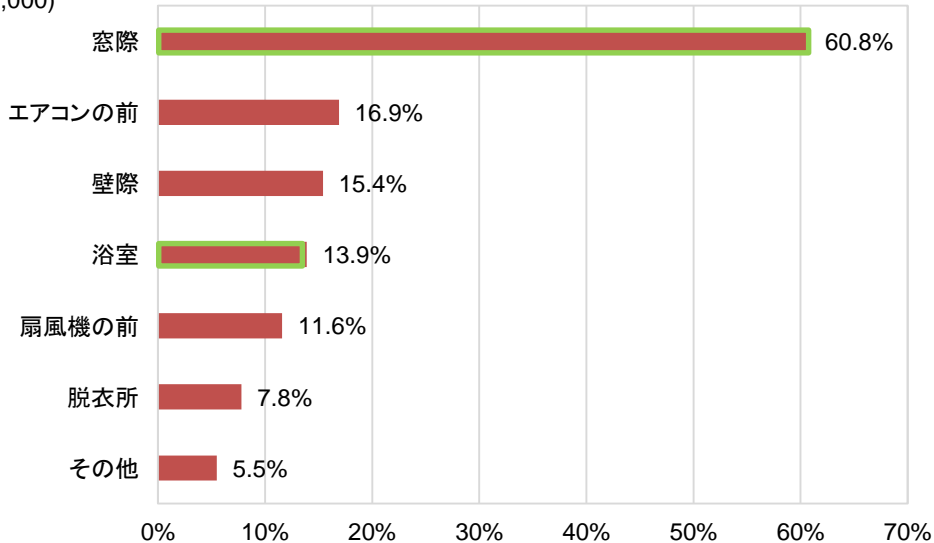
【洗濯ブラザーズコメント】

お湯で洗うと洗浄力は上がりますが、40度を超えると生地にダメージを与えます。ぬるま湯程度に留めておくことがポイントです。お湯を使うのは、臭いが気になる時、汚れがひどい時にしましょう。お風呂の残り湯には皮脂やタンパク質などが含まれているので、洗濯での使用はおすすめしません。「仕分け」は、「ふだん洗い」「ハードな汚れ」「色柄もの」「デリケートな生地」「乾いているものと濡れているもの」で分けるのがベスト。乾いているものと濡れているものを分けるのは、臭いの原因となる菌は水分を好むので、乾いているものに菌がうつらないようにするためです。

洋服を傷める原因になる「窓際」に洗濯を干してしまっている方が約6割 部屋干しをする際に乾きにくいと思う洗濯物 1位「ジーンズ」2位「厚手の服」3位「バスタオル」

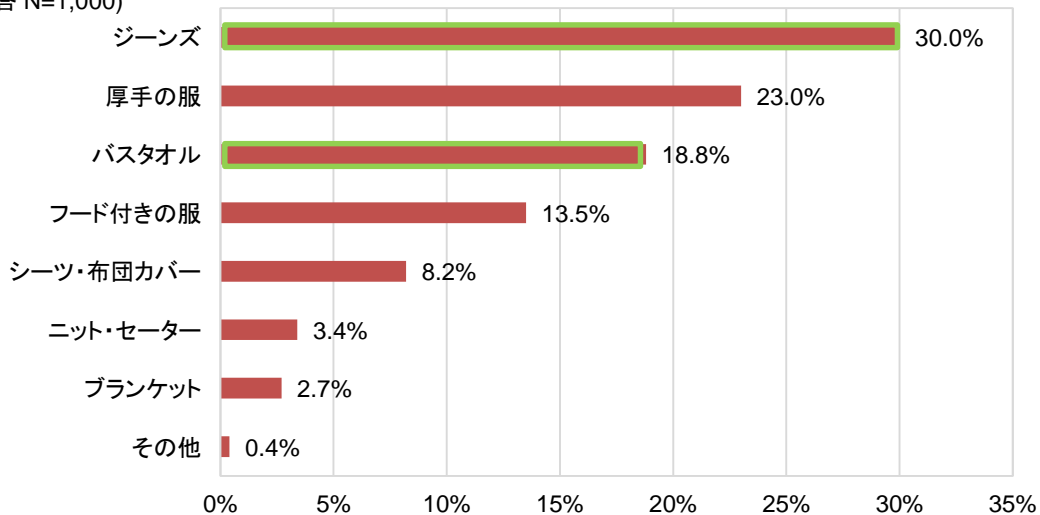
部屋干しの際にどこに洗濯物をかけているか調査しました。その結果、「窓際」が最も多い結果となりました。続いて「エアコンの前」が多く、風通しが良さそうな場所に部屋干しをしている方が多いことが分かりました。

Q14.あなたは部屋干しをする際、どこに洗濯物をかけていますか。あてはまるものを全てお選びください。
(複数回答 N=1,000)



部屋干しをする際に乾きにくいと思う洗濯物については、1位「ジーンズ」2位「厚手の服」3位「バスタオル」という結果になりました。

Q15.部屋干しをする際、乾きにくいと思う洗濯物がありますか。その中から最もあてはまるものを一つお選びください。
(単一回答 N=1,000)



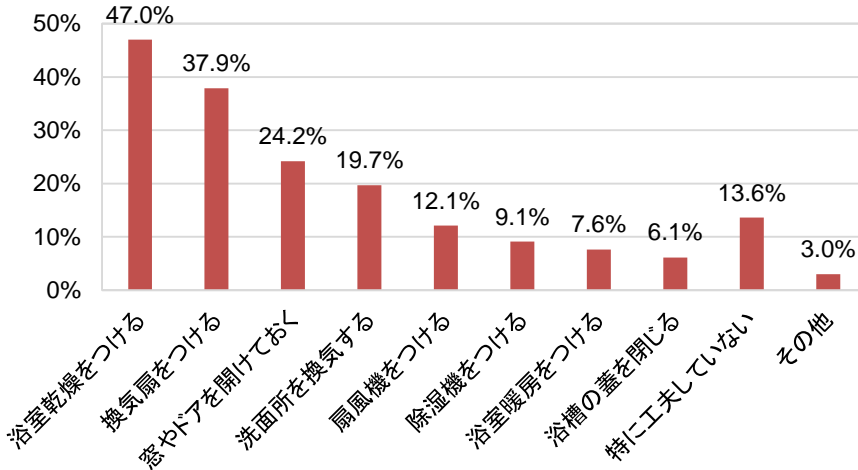
【洗濯ブラザーズコメント】

窓際であっても、紫外線が届く場所は避けた方が良いでしょう。特に色柄物などは紫外線による退色が起こりません。ジーンズなどは生地が厚く、なかなか乾きません。そのため、干す際は、裏返しにして、ポケットや縫い目が表側に来るようにします。バスタオルなどは、ハンガーを2本使ってコの字に干して空気の通り道を作ると良いでしょう。また、半乾きの段階で乾燥機にかけてあげると、フワツとした仕上がりになります。干す時の3つのポイント①温度が高いこと、②湿度が低いこと、③風通しが良いこと を念頭に。

浴室暖房・乾燥機の所有者で、実際に利用している方は約5割 衣類乾燥機を使用する方は約1割、使用しない理由1位「電気代がかさむから」

ご家庭に浴室暖房・乾燥機がある方に洗濯物を干す際に乾燥を早めるための工夫を聞いてみました。その結果、「浴室乾燥をつける」と答えた方が約5割という結果になりました。また、「換気扇をつける」「窓やドアを開けておく」など換気を意識している方が多いことが分かりました。

Q16.浴室に洗濯物を干す際、乾燥を早めるために何か工夫をしていますか。
(単一回答 N=88)



参考

浴室暖房・乾燥機

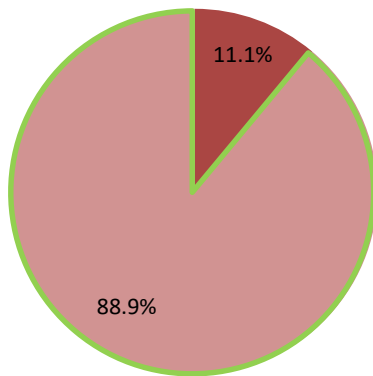


衣類乾燥機



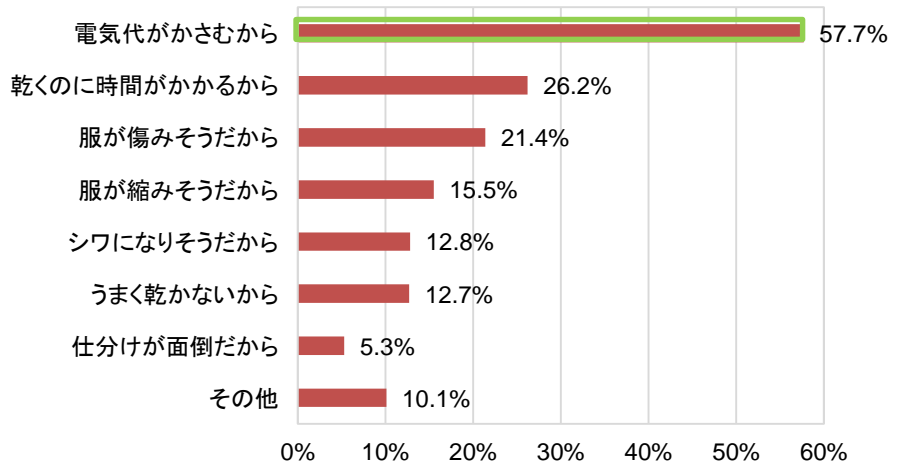
衣類乾燥機を使用しているかどうかを聞いてみました。その結果、衣類乾燥機を使用する方は約1割と少ない結果になりました。また、使用していないと答えた方に使用しない理由を聞いたところ「電気代がかさむから」と答えた方が約6割と最も多い結果となりました。

Q17.あなたのご家庭で、乾燥機を使用していますか。(単一回答 N=1,000)



- 乾燥機を使用することがある
- 乾燥機を使用することはない

Q18.あなたのご家庭で、衣類乾燥機や洗濯機の乾燥機能を使用していないのはなぜですか。理由としてあてはまるものを全てお選びください。
(複数回答 N=889)



【洗濯プラザーズコメント】

生乾き臭を防ぐには、洗濯機で洗う前からの対策が重要です。汗もかきやすくなる梅雨の時期は、洗濯前(カゴに入っている状態など)から菌が繁殖しやすいので、濡れたまま長く放置せず、こまめに洗濯していくことが嫌な臭いをさせないポイントです。少ない量でもこまめに洗っていけば干す場所にも困りにくくなりますよね。干した時に、扇風機の風を当てておくことや、乾燥機の有効活用などで梅雨の部屋干しでも快適に洗濯できます。

梅雨時期に洗濯のストレスを抱える人も少なくないかもしれません。実際に、本調査でも洗濯に悩まされる方が多くいることも判明しました。とはいえ、日々たまっていく洗濯物を片づけるためには雨の日でも洗濯をしないとイケない、と感じる方も多いのではないのでしょうか。そんな梅雨時期の洗濯も気持ちよく行うため、洗濯ブラザーズに「梅雨時期の洗濯 3つのポイント」を教えてくださいました。

洗濯ブラザーズに聞く 梅雨時期の洗濯 3つのポイント

1. 「洗濯」は洗う前から始まっている

生乾き臭の原因となる菌は、水分を好みます。湿気によって菌が増殖しますので、濡れた洗濯物と乾いた洗濯物は、別々に保管しましょう。そして、菌は時間と共にどんどん増殖するので、こまめに洗うのが理想です。保管する際のポイントは、通気性の良いカゴに入れる、濡れたものをすぐに洗えない場合は干して乾燥させてから洗う、洗濯物を洗濯槽で保管しない、です。また、洗濯槽に菌が住みついているので、梅雨の時期は月1で洗濯槽の洗浄をしましょう。

2. 水→洗剤→洗濯物 の順番で洗濯機に入れる

通常の洗濯モードでは、実は洗濯物がきれいになっていないことがあり、汚れが残っていると、生乾き臭の原因になってしまいます。そこで、水と洗剤を先に混ぜてから洗濯物を入れ、たっぷりの水で洗うのがポイントです。洗剤の入れすぎは逆効果。泡が立ちすぎて繊維から汚れが落ちにくくなります。また、すすぎで洗剤を落とさず黄ばみや臭いの原因にもなります。適量を守りましょう。

3. 「乾きづらい」を解消するには「①湿度」「②温度」「③風」が大切

僕たちプロには「洗濯日和」という概念はありません。梅雨の時期は洗濯物を外に干せなくて残念、という方が多いと思いますが、次の3つに気をつければ大丈夫。①湿度は40%以内。除湿機は最強の味方。②人が快適に感じるくらいが洗濯物にとってもベスト。エアコンは27度くらいに。③湿気がたまって乾きにくい洗濯物の下の方に風を当てるのが効果的。洗濯物の間隔はこぶし一つ分にして空気の流れをつくる。広い部屋よりも狭い部屋に干した方が湿度や温度をコントロールしやすくなります。

洗濯ブラザーズ

茂木貴史、茂木康之、今井良の3人で結成し、毎日の洗濯を楽しくハッピーにするための活動をするプロ集団。

横浜でクリーニング店「LIVRER YOKOHAMA(リブレ ヨコハマ)」を運営するかたわら、劇団四季、クレイジーケンバンドなど国内外の有名アーティストの衣装クリーニングを行う。また、オリジナルのナチュラル洗剤を開発し、好評を博している。

毎日の洗濯が、「嫌いな家事」から「好きな家事」になるように、洗濯の楽しさを伝える活動を実施。メディア出演が急増中。著書に8万部突破のベストセラー『日本一の洗濯屋が教える 間違いだらけの洗濯術』(アスコム刊)。公式サイト <https://sentakulife.com>



【調査概要】

調査時期: 2021年4月10日~4月11日

調査方法: インターネット調査

調査対象: 20~60代 男女 計1,000人

調査エリア: 全国47都道府県

※本リリースの調査結果・グラフをご利用いただく際は、必ず【リンナイ調べ】とご明記ください。

ガス衣類乾燥機

ほやい
乾太くん

洗濯物が驚くほどふんわり仕上がる

日本は日照時間が短く、雨が多い国。実は日本の気候は天日干しには向いていません。乾太くんがあれば、天気に悩まず洗濯物が毎日ふかふか、ほかほかに。衣類やタオルの殺菌や洗濯の時短にも貢献します。



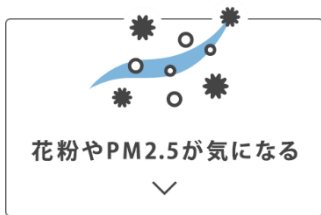
パワフル温風で悪臭の原因菌を除去

洗濯物を部屋干しすると生じる生乾き臭。その原因は「モラクセラ菌」にあります。パワフル温風で「モラクセラ菌」の発育を抑制。80℃以上の温風で乾燥する乾太くんなら、外干しや日光消毒でも除去できないニオイを取り除きます。生乾き臭の心配もありません。

乾太くんなら菌の減少率

99.9% ※

※試験機関：愛知学院大学 薬学部
試験対象：モラクセラ・オスロエンシス
試験方法：菌付着布の生菌数測定。緩衝液中で菌を洗い出し、寒天平板にて培養。



天候を問わず1年中活躍！

外干し不要の乾太くんなら、雨の日はもちろん、花粉の季節や黄砂・PM2.5などの大気汚染が気になる日のお洗濯も安心です。



ガスのパワーでスピード乾燥

パワフルな乾太くんなら、たっぷり5kgの洗濯物も約52分で乾燥。電気式の約1/3の時間で済むので、家事の時間を大幅に短縮できます。

乾燥時間の比較



※ガス衣類乾燥機(乾太くん)：リンナイ、電気ヒートポンプ式乾燥、電気ヒーター式乾燥
試験実施：リンナイ(株)
条件：美用衣類5kg(綿50%、化繊50%) / 脱水度70%
RDT-54S-SV・標準コースで算出。ガス種：LPGの場合で約52分。



繊維の根元からふんわり

大容量のドラムで、ガスならではの強い温風をたっぷり送り込みながら乾燥させるので、繊維が根元から立ち上がり、快適に仕上がります。

